

●**どんな実験（工作、観察、体験）ができるの？**

身近にある花や食べ物などは、とても良い匂い・香りがします。光や音と違って、匂い・香りは、その元となる化学物質が空気中を漂って鼻に吸い込まれて感じます。この体験では、試験管に入っている10種類の香りを嗅いで、紙に書かれたヒントを手掛かりに、香りの元となる化学物質がどれかを当てます。

●**準備しよう**

香りが入っている10本のプラスチック試験管、化学物質名と、それが含まれている花や食べ物、生活用品などの名前が書かれたヒントシート、ペン

●**やってみよう**

- ① 試験管の蓋をとって鼻を近づけて匂いを嗅ぐ。
- ② ヒントシートをよく読んで、試験管に書かれた番号を回答欄に書き込む。
- ③ 蓋をしめる。（開けたままだと、まわりに香りが移るので、すんだらすぐ閉める）
- ④ 10種類やったら、係の人に答え合わせをしてもらい、説明をきく。
匂いがよくわからなくなったら、着ている服の匂いを嗅いで、鼻を休めよう。

《**どうしてこうなるのかな？**》

自然にある花や木々だけでなく、身近にある食べ物や生活用品にも様々な匂いがします。匂い・香りの正体は空気中に漂う「化学物質」です。お菓子など加工した食品には、香りの化学物質を表示することになっていて、「香料」と書かれています。

●**気をつけよう**

気分が悪くなることもあるので、あまり長い時間嗅がないようにしましょう。

●**くわしくしらべてみよう**

お家にあるお菓子やせっけんなど、食べ物や生活用品などに書かれた「香料」の2文字を探してみましょう！それらにふさわしい香りの化学物質がふくまれています。色々な化学物質を混ぜ合わせてあるために「香料」と表示されています。

- ・野田信三「やさしくわかるかおりのしくみ」
食品研究社、2010年
- ・倉橋隆 他「トコトンやさしいにおいと
かおり」日刊工業新聞社、2011年
- ・長谷川香料株式会社「香料の科学」
講談社サイエンティック、2013年
- ・天田圭子「わかりやすい香りのテクノロジー」
オーム出版局、1997年

くところに置かない。表示成分:イソプロピルメチル
フェニールプロピルグリコール、エデト酸塩、安息香
酸、安息香酸塩、香料、ジブチルヒドロキシルエン
販売名: 薬用ハンドソープAb

●名称:清涼飲料水●原材料名:果糖ぶどう糖液糖
(国内製造)、牛乳、脱脂粉乳、りんご果汁、乳酸菌飲料、
オレンジ果汁、バナナ果汁、酵母エキスパウダー/
酸味料、香料、安定剤(増粘多糖類)、甘味料(アスパル
テーム・L-フェニルアラニン化合物、アセスルファム
カリウム)、カロテン色素、(一部に乳成分・オレンジ)